

2021年度放課後等デイサービス 自己評価及び分析と改善

チェック項目		千葉県									
		木更津つばめ園			印西牧の原園			畑沢園			
		はい	どちらとも いえない	いいえ	はい	どちらとも いえない	いいえ	はい	どちらとも いえない	いいえ	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練等スペースとの関係で適切であるか	1	4	0	6	0	0	5	0	0
	2	職員の配置数は適切であるか	1	3	0	6	0	0	5	0	0
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	2	2	6	0	0	5	0	0
	分析		・小学校高学年・中学生の利用者に対しては療育室のスペースが狭く感じる。(つばめ園) ・玄関部分が階段になっている為、歩行の不安定な利用者にとっては危ないと感じる。(つばめ園) ・玄関前に1段の段差があるが、室内(療育室)はバリアフリーになっている。(畑沢園)								
	環境・体制整備に関する改善方針		・1階と2階で利用者を分散させて、スペースを有効に使えるように療育内容を工夫していく。(つばめ園) ・玄関先をスロープにするのは難しい為、職員が介助しながら利用者の安全を確保する。(つばめ園) ・玄関先の段差については、声掛けするなど利用者へ注意喚起を行い支援している。(畑沢園)								
	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか	4	1	0	6	0	0	5	0	0
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	1	0	6	0	0	5	0	0
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	1	0	6	0	0	4	1	0
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	1	3	6	0	0	1	1	3
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	0	6	0	0	5	0	0
分析		・第三者評価を実施していないが、法人として第三者評価の実施を検討する。業務システム・グループウェア・勤怠管理システムの導入により信頼性の高い業務を行う事が出来る。									
業務改善に関する改善方針		・アフターコストを少なくすることを目標に業務改善に取り組み。職員への研修の機会を増やす(1回/月)。									
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を実施しているか	4	1	0	6	0	0	5	0	0
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	2	1	6	0	0	4	1	0
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1	0	6	0	0	4	1	0
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	1	0	6	0	0	5	0	0
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	3	2	0	6	0	0	4	1	0
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	6	0	0	5	0	0
	15	支援開始前には必ず打ち合わせをし、その日にやられる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	0	5	1	0	5	0	0
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	0	0	6	0	0	5	0	0
	17	日々の支援に関して詳しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	1	0	6	0	0	5	0	0
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しが必要性を判断しているか	5	0	0	6	0	0	5	0	0
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	4	1	0	6	0	0	5	0	0	
分析		適切な支援の実施をしているが、ICT化による更なる支援を実施する段階に来たと思う。									
業務改善に関する改善方針		・平日の過ごし方はパターン化している部分も多くありそれを好む利用者もいるが、利用者の年齢により療育内容の検討を進める。ICT化の療育体制の構築を進める。適切なアセスメントを行うためのICT化アセスメントの実施を検討する。									
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	4	1	1	6	0	0	5	0	0
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の1確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	0	0	6	0	0	5	0	0
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	2	1	5	0	1	4	0	1
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	2	1	3	3	0	1	2	2
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	2	2	3	3	0	1	3	1
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を行っているか	4	1	0	6	0	0	1	3	1
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	1	0	0	5	1	3	1	1
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	0	1	5	1	0	3	1	1
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	1	0	6	0	0	5	0	0
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	1	3	1	2	4	0	1	3	1
分析		コロナ禍により、保護者会などの交流会を開催することが出来なかった。保護者に対してのペアレントトレーニングについては、面談の際などで行ったが、満足とは言えなかった。(畑沢園)									
業務改善に関する改善方針		感染状況が好転してきた時には、保護者交流会を開催し、コミュニケーションが取れる場の提供やペアレントトレーニングに繋がる場を設けていきたいと考えている。zoomによる保護者会の開催を検討したい。									
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明は行っているか	4	1	0	6	0	0	4	1	0
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	0	6	0	0	5	0	0
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	2	2	2	4	0	0	2	3
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	1	0	6	0	0	5	0	0
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	1	0	6	0	0	5	0	0
	35	個人情報に十分注意しているか	5	0	0	6	0	0	5	0	0
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	1	0	6	0	0	5	0	0
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	2	3	0	6	0	2	1	2
	分析		・コロナの影響で保護者同士が集まり情報交換する場を提供することが出来なかった。(畑沢園)								
	業務改善に関する改善方針		・コロナ感染の状況が落ち着いてきた頃合いを見計らって、保護者が集まって情報交換やコミュニケーションが図れる会を開催していきたいと考えている。(畑沢園)・zoomによる情報交換会当の実施を検討する。								
非常時の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	2	0	6	0	0	5	0	0
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	0	6	0	0	5	0	0
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	1	0	6	0	0	5	0	0
	41	どのような場合にもむすび身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	1	0	5	1	0	5	0	0
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	1	0	6	0	0	4	0	1
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	1	0	6	0	0	5	0	0
分析		食物アレルギーについては、医師の指示書ではないが、保護者からの聞き取りに応じた対応を行っている。(畑沢園)									
業務改善に関する改善方針		虐待防止やアレルギーについて会議・研修で全職員に共有はしているが、定期的に行わないと意識が薄れてしまう為、定期的にパート職員も含め全職員にフィードバックを行っている。(つばめ園)虐待防止委員会や身体拘束適正化委員会の設置により継続的に確認し周知徹底する。									